

つなぐ手ねっと

(リハビリスタッフが名付けてくれました。私たち、仲間、地域の復興へ向けた表現です。)

長町病院・地域訪問対策本部発 No. 1 2011年3月30日

本日、長町7丁目を訪問、6人が参加、56人の安否確認

長町地域訪問、着々進む!
安否確認1000人に近づきました。

276人参加、安否確認979人、地域訪問681件、避難所16カ所です。友の会のみなさんの大奮闘は集計中です。

リハビリ、支援の方々の参加で、長町地域の全戸訪問が進んでいます。一部紹介します。



今まで病院北側の世帯はほぼ訪問、特徴は外見は建物の倒壊など少ないのですが、家の中は激しい揺れで家具類が倒れたりと引き続き大変な状況です。

お話を伺い、困りごとを伺い、訪ねています。高齢者の方、一人暮らしの方々は精神的な不安も強く、不眠を訴える方も多く見られます。

「災害時の地域回り、今後の不安を抱えた方のケアにもなると思います。本当の復興はこれから、頑張りたい」（職員感想）

事務所には会員さんの安否を役員の方が知らせてくれています。

川熊ビル2階にお越し下さい。地域訪問、支援の方々との交流、復興へ向けみんなで元気になりましょう。（M）

東北大医学生からも若林地域支援のボランティアの申し入れ

東北大では、震災の影響でしばらく帰省するように、学校から指示が出されています。つながりのある医学生から、四月中旬にこちらに戻れば、津波の被害が激しかった若林地域への支援ボランティアをしたいと相談がありました。

集まれる場所がほしいので、長町のここセタに集まって行動させてもらいたいとのことでした。

ぜひ一緒に頑張ろうと受入を確認しました。四月中旬未来の仲間と復興へ向け、がんばれることをたのしみにしています。